

2016年12月8日 全8頁

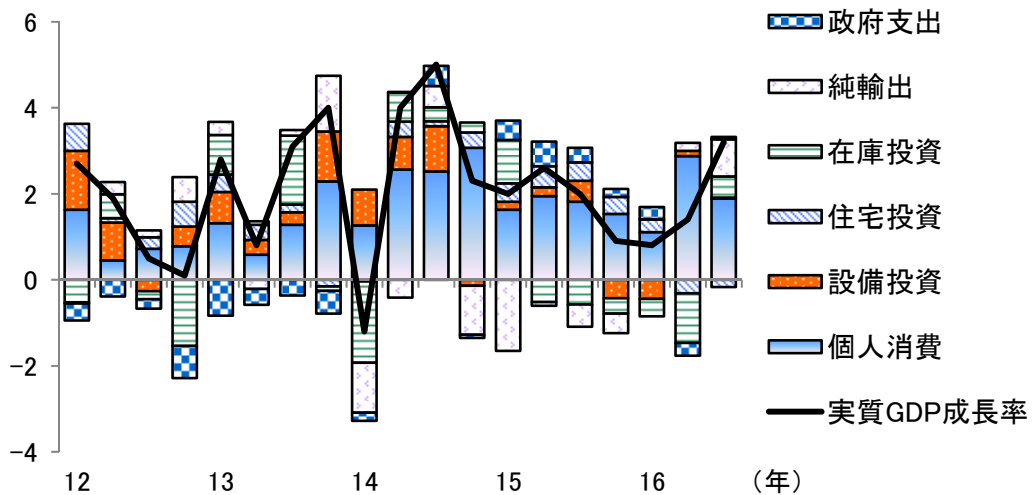
アメリカ経済グラフポケット (2016年12月号)

2016年12月6日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター
上野 まな美
エコノミスト 橋本 政彦

実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



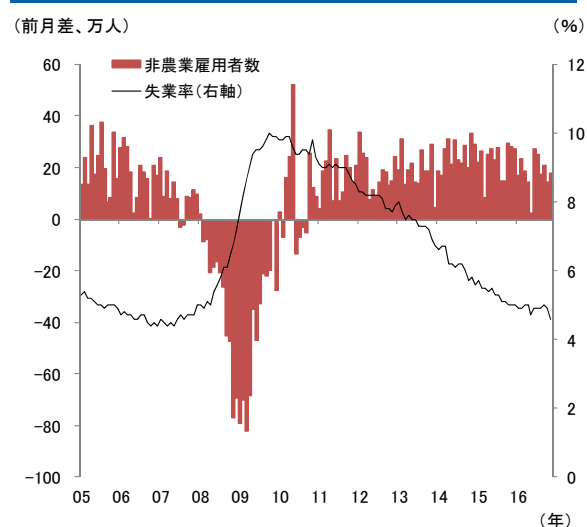
(前期比年率、%、%pt)	2014	2015				2016		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
国内総生産	2.3	2.0	2.6	2.0	0.9	0.8	1.4	3.2
個人消費	4.6	2.4	2.9	2.7	2.3	1.6	4.3	2.8
設備投資	-1.1	1.3	1.6	3.9	-3.3	-3.4	1.0	0.1
住宅投資	11.4	13.3	14.9	12.6	11.5	7.8	-7.7	-4.4
政府支出	-0.4	2.6	3.2	1.9	1.0	1.6	-1.7	0.2
輸出	4.5	-5.8	2.9	-2.8	-2.7	-0.7	1.8	10.1
輸入	11.2	5.6	2.9	1.1	0.7	-0.6	0.2	2.1
寄与度								
個人消費	3.1	1.6	1.9	1.8	1.5	1.1	2.9	1.9
設備投資	-0.1	0.2	0.2	0.5	-0.4	-0.4	0.1	0.0
住宅投資	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	-0.3	-0.2
在庫投資	0.2	1.0	-0.5	-0.6	-0.4	-0.4	-1.2	0.5
政府支出	-0.1	0.5	0.6	0.3	0.2	0.3	-0.3	0.1
輸出	0.6	-0.8	0.4	-0.4	-0.3	-0.1	0.2	1.2
輸入	-1.7	-0.9	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	0.0	-0.3

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

雇用環境¹

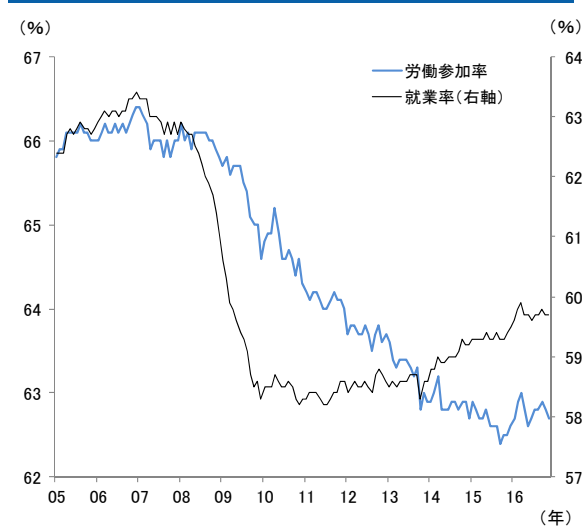
- ◆ 2016年11月の失業率は4.6%と前月から0.3%ポイント低下し、2007年8月以来の低水準に大幅に改善した。しかし、失業率の低下は就業者の増加に加え、労働力人口の減少に因る。
- ◆ 11月の非農業雇用者数の前月差は17.8万人増と前月から伸びが拡大した。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は20.5万人増と4月以来の20万人超に改善し、堅調な雇用の伸びを示した。

非農業雇用者数と失業率



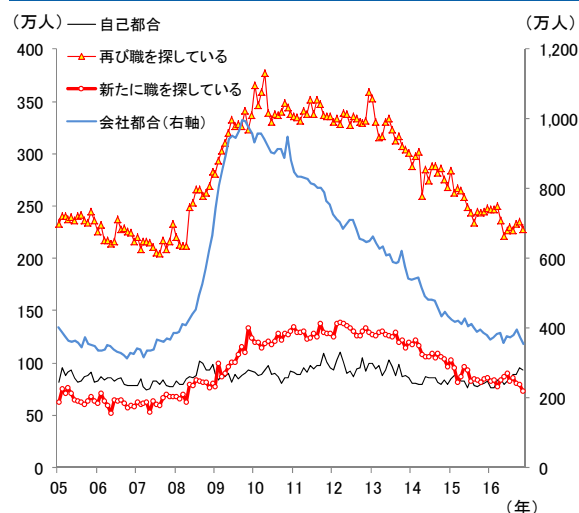
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

労働参加率と就業率



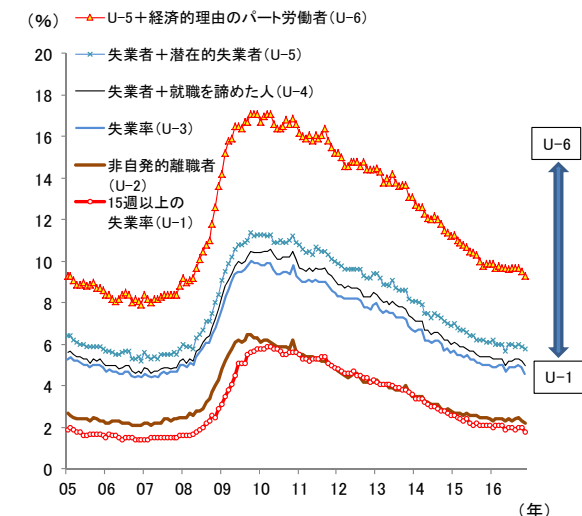
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

定義別失業率



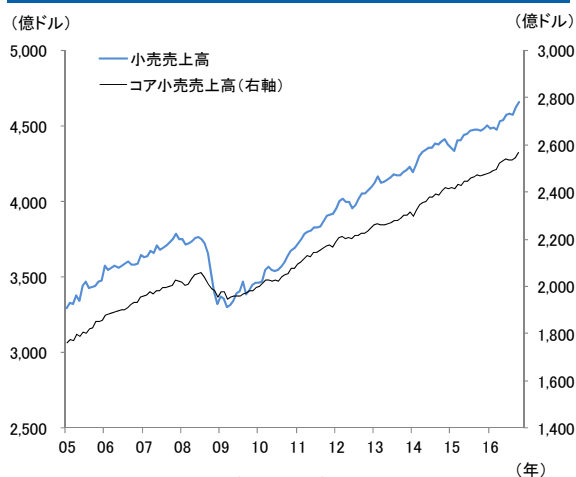
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

¹ 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「失業率は2007年8月以来の低水準」（2016年12月5日）参照。 http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20161205_011465.html

個人消費

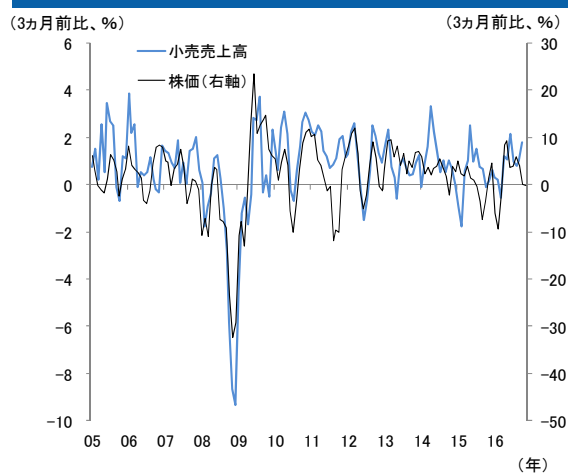
- ◆ 2016年10月の小売売上高は前月比0.8%増と、2ヵ月連続で増加した。コア小売売上高も0.8%増加し、好調であった。
- ◆ 11月の自動車販売台数は前月比0.8%減少し、年率換算で1,787万台であった。国産のライトトラックの販売減少により3ヵ月ぶりに減少に転じたものの、高水準を保った。
- ◆ 11月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の87.2から93.8へと上昇した。大統領選の結果を受けて現況指数と期待指数の双方が上昇し、5月以来の高水準となった。

小売売上高の推移



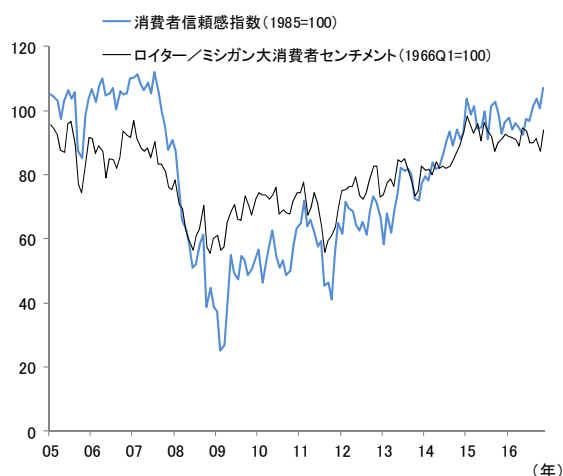
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、建材・園芸、飲食サービスを除く。
(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

消費と株価



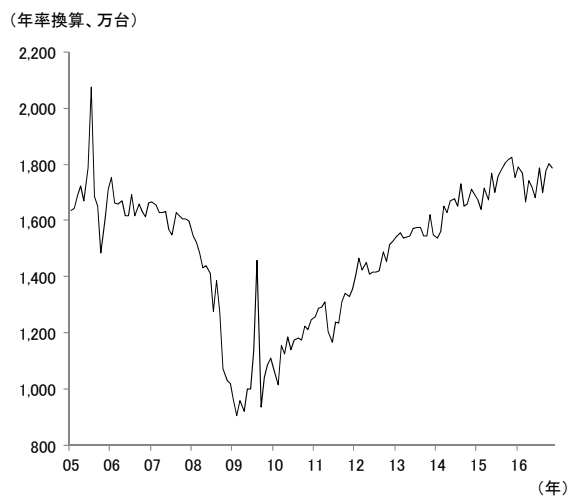
(注) 株価はWilshire5000。
(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

消費者マインド



(出所) ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより大和総研作成

自動車販売台数



(出所) Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

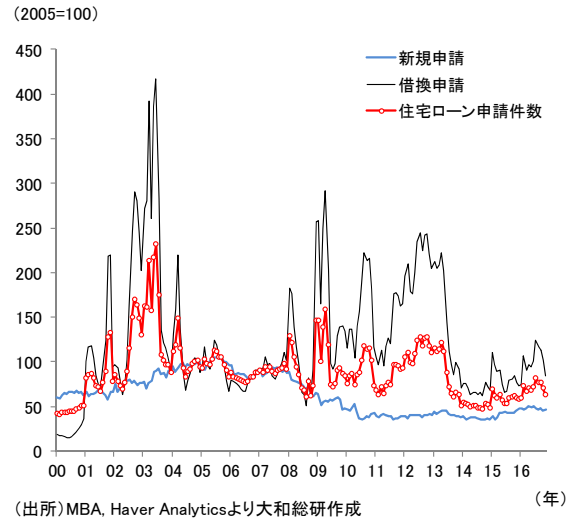
住宅市場

- ◆ 2016年10月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比25.5%増の年率換算132.3万戸であった。一戸建ての増加に加えて、変動が大きい集合住宅が前月の大幅減から急増して全体を押し上げた。
- ◆ 10月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比2.3%増の年率換算499.0万戸であった。2ヵ月連続で増加し、2007年2月以来の高水準となった。
- ◆ 10月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比1.9%減の年率換算56.3万戸となった。前月から減少に転じたものの、高水準を維持している。
- ◆ 9月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は前月から0.4%上昇した。3ヵ月連続で上昇し、住宅価格は緩やかな上昇傾向にある。

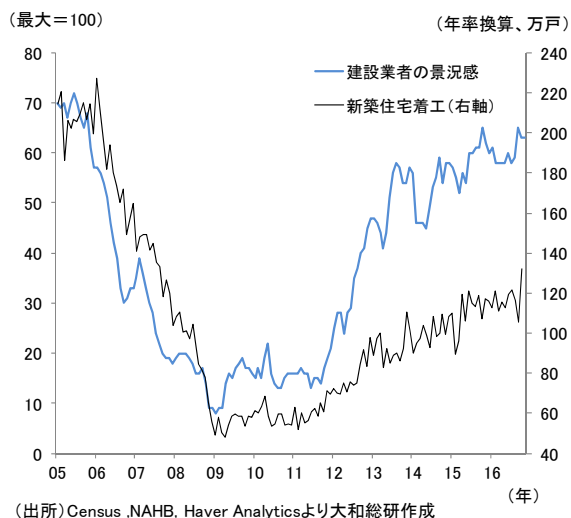
住宅販売（一戸建て）



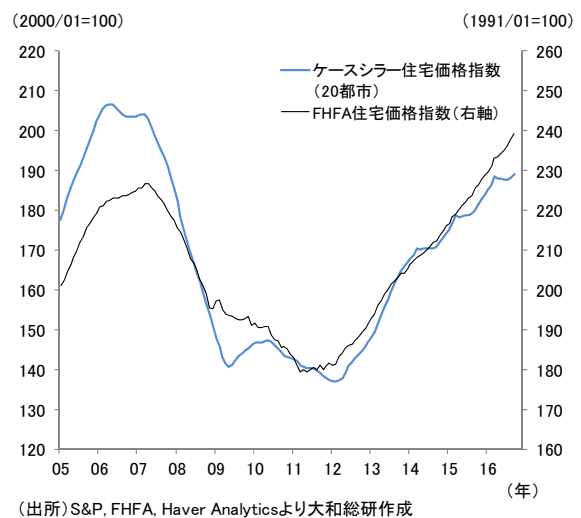
住宅ローン申請件数



住宅着工と建設業者の景況感



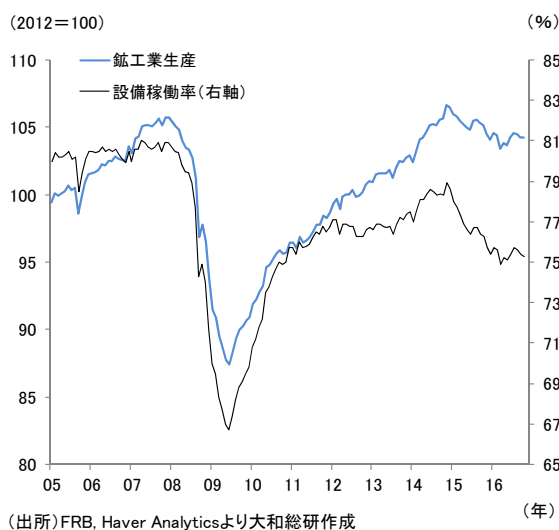
住宅価格



企業動向

- ◆ 2016年10月の鉱工業生産指数は、前月比0.0%上昇した。指数全体の約8割を占める製造業（SICベース）は同0.2%上昇したものの、暖房需要の低速による公益部門の落ち込みが全体の指数を押し下げた。
- ◆ 10月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は前月比0.2%増と、前月から増加に転じた。
- ◆ 11月のISM製造業指数は前月から1.3%ポイント上昇し、53.2%であった。3ヵ月連続で基準となる50%を上回り、6月以来の高水準となった。非製造業指数は同2.4%ポイント上昇し、57.2%となった。

鉱工業生産と設備稼働率



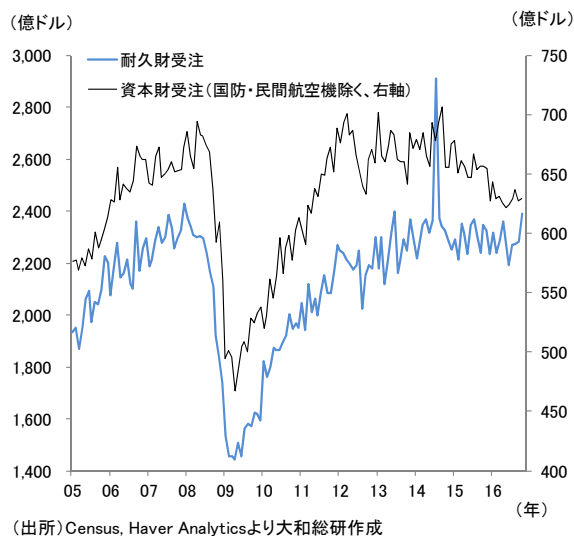
企業の景況感



製造業の出荷・在庫



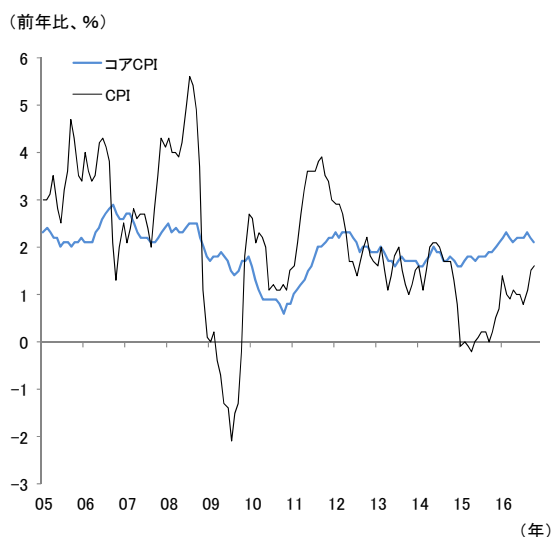
耐久財受注



物価動向

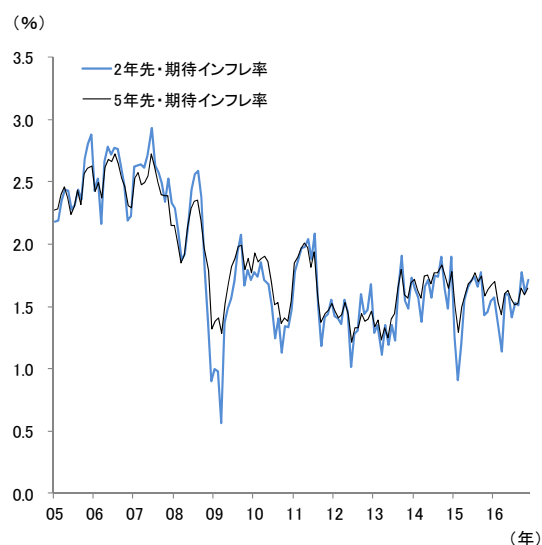
- ◆ 2016年10月のCPI（消費者物価指数）は前年比1.6%上昇し、2014年10月以来の高い伸びとなった。コアCPIは、同2.1%上昇した。
- ◆ 11月の2年先期待インフレ率は1.71%と前月から上昇し、5年先期待インフレ率も1.65%と前月から上昇した。
- ◆ 11月末のWTI原油先物価格は49.44ドル/バレルで、10月末の46.86ドル/バレルから上昇した。11月前半は価格が下落傾向にあったものの、11月30日にOPECが8年ぶりとなる減産に合意したことにより、価格が急騰した。

消費者物価指数



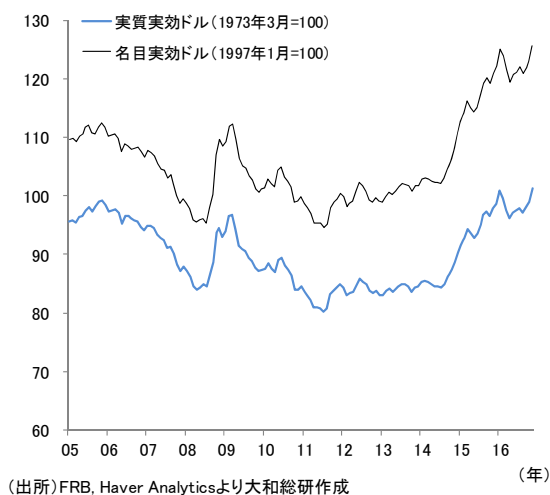
(注)コアCPIは食品、エネルギーを除く。
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

期待インフレ率



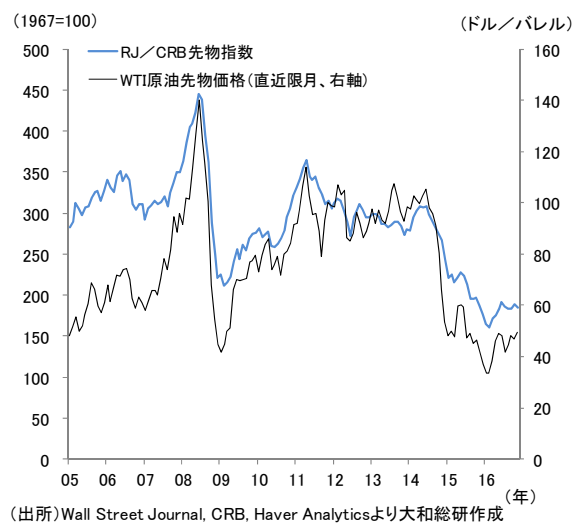
(出所)Cleveland Fed, Haver Analyticsより大和総研作成

実効為替レート(ブロード)



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

コモディティ価格

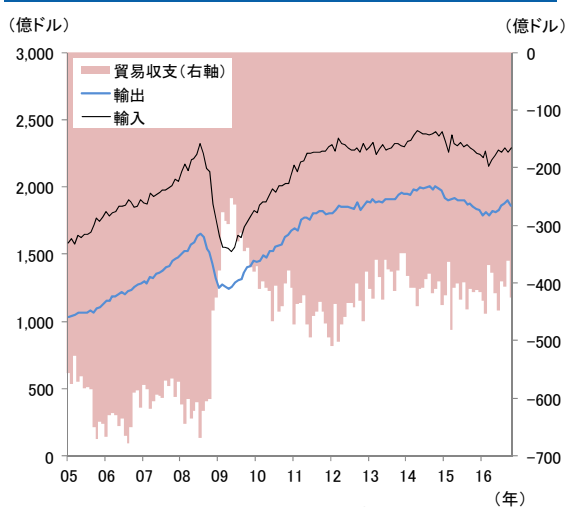


(出所)Wall Street Journal, CRB, Haver Analyticsより大和総研作成

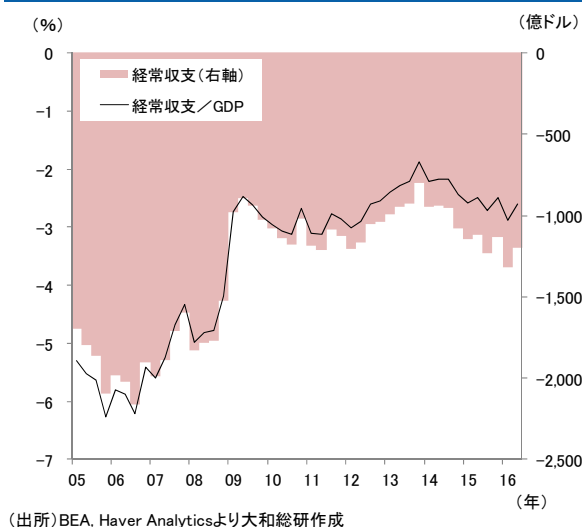
輸出入・経常収支

- ◆ 2016年10月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比1.8%減少し、輸入が同1.3%増加した。この結果、貿易赤字は同17.8%増の約426億ドルに大きく拡大した。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では食品・飼料・飲料の分野で大豆の減少が目立ち、輸入ではホリデー商戦を控えて消費財が増加した。
- ◆ 地域別（財）では、中国への輸出が前年比11.3%増加し、日本向けも同10.9%増加したが、欧州向けは同2.0%減少した。輸入は、日本からの輸入が同8.2%増加した一方で、中国からの輸入は同1.2%減少し、欧州からの輸入も同4.6%減少した。中国からの輸入は8ヵ月連続で前年を下回った半面、日本からの輸入は5ヵ月連続で前年を上回った。

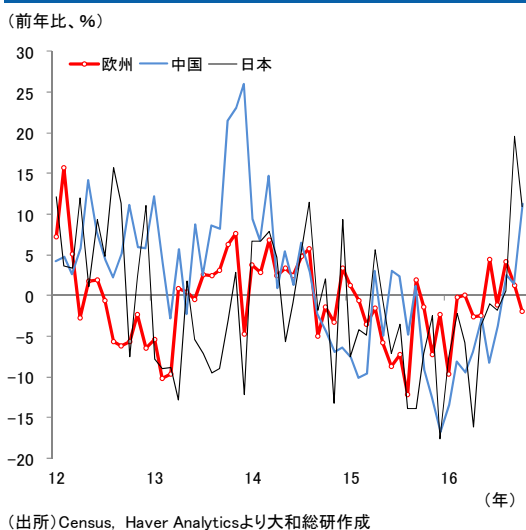
貿易収支動向



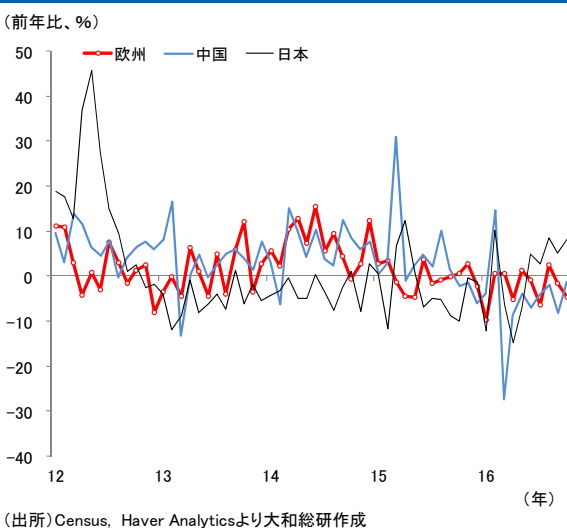
経常収支の推移



国・地域別輸出動向



国・地域別輸入動向



金融・財政

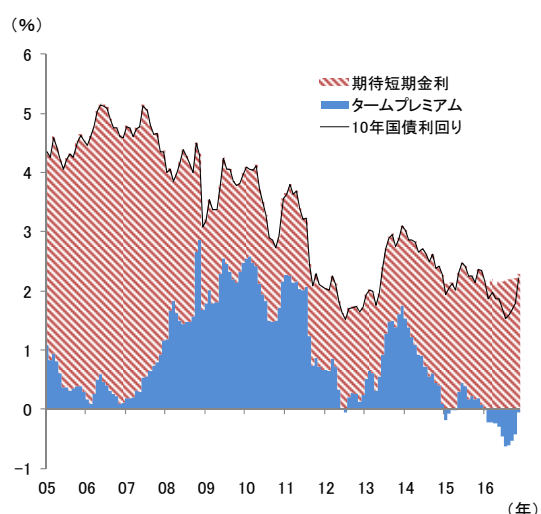
- ◆ 2016年11月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジが据え置かれた。また、保有する資産規模については、現在の水準を維持することが決定された。FRBの資産残高は、直近の11月30日の週平均が約4兆5,000億ドルであった。
- ◆ 11月の長期金利（10年債利回り）の平均値は2.14%となった。トランプ氏が次期大統領に選出され、新たな経済政策への期待などから、1月以来初めて月中平均値として2.00%を超えた。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、このところ赤字幅が拡大している。

政策金利・長期金利



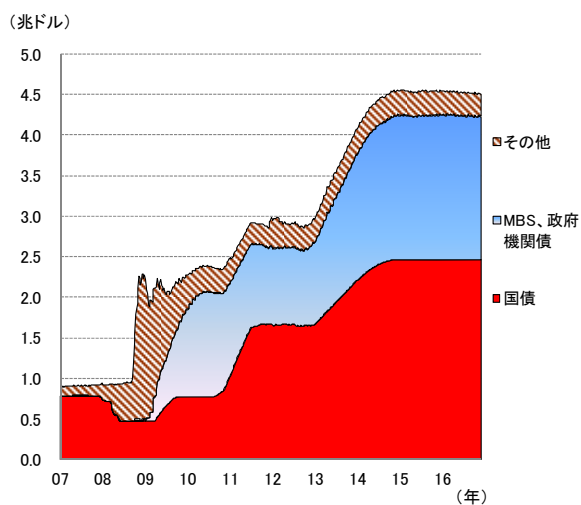
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

タームプレミアム(10年)



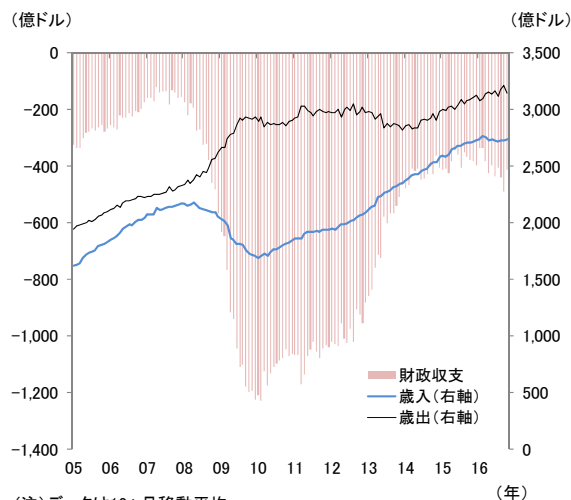
(出所)NY連銀, Haver Analyticsより大和総研作成

FRBの資産構成



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省, Haver Analyticsより大和総研作成